

多言語・多文化化する社会(1)

変化する労働市場における外国人 - 教育から就労へ -

立教大学 兼任講師 鈴木 江理子

1. 日本における外国人労働者

公式見解としては専門的・技術的外国人労働者のみを受け入れているはずであるが、実態として、日本には相当数の外国人「単純労働者」が存在しており、またその就労状況も不安定な場合が多い。グローバル化が進展し、企業競争が激化することによって、より柔軟な労働力へのニーズが高まるなかで、外国人労働者の就労状況がより一層不安定化・周辺化されることが懸念される。

(1) 外国人労働者受入れの基本方針

- 第六次雇用対策基本計画（1988年） 89年改定入管法（翌90年施行）
 - ✓ 「専門的・技術的労働者」は積極的に受け入れ、いわゆる「単純労働者」は慎重に対応する、すなわち受け入れない
- グローバル化の進展や人口減少への対応 政府内での議論の活発化
 - ✓ 「高度人材」の積極的受入れと「労働力不足の分野の労働者」の制限的受入れ

(2) 外国人労働者の就労状況

- 漸増基調の外国人労働者数
 - ✓ 厚生労働省による推計：902,436人+（2004年）
 - ✓ 日本全体としては、失業率上昇、就労者数減少
- 高い間接雇用比率
 - ✓ 外国人雇用状況報告では42.9%（2006年）
- 労働市場の階層化、産業別の棲み分け
 - ✓ 生産工程・労務作業者47.0%（2000年国勢調査）
 - ✓ 製造業36.2%（2005年国勢調査）

(3) 雇用環境の変化と外国人労働者

- 柔軟な雇用と柔軟な働き方の肯定
 - ✓ 周辺労働力に対するポジティブな言説：「フリーター」
 - ✓ 消極的雇用政策から積極的雇用政策へ：職業能力開発促進法（1986年）
 - ✓ 外部労働市場の整備：労働者派遣法（1986年）職業安定法改正（1997年）
 - ✓ 人材流動化の奨励：「失業なき労働移動」（「緊急経済対策」1998年）「エンプロイアビリティ(Employability)」(『労働白書』1999年)
- 企業の人事・雇用戦略の変化
 - ✓ 労働力の越境的な利用：生産拠点の海外移転と国内における外国人労働者の活用
 - ✓ 日本経営者団体連盟による「雇用ポートフォリオ」の提唱（1995年）
- 非正規雇用の拡大
 - ✓ 非正規雇用：16.4%（1985年） 33.0%（2006年）
- 不安定化する若年雇用
 - ✓ 中卒・高卒の新卒労働市場における求人総数の激変
 - ✓ フリーターとニート（Not Education, Employment or Training）の増加

- ✓ 失業率の上昇：15～19歳：6.6%（1990年） 9.4%（2006年）
20～24歳：3.7%（1990年） 7.7%（2006年）
- 選択肢としての外国人労働者
 - ✓ 安価な労働力？：日系人＞非正規就労者＞技能実習生＞研修生
 - ✓ 労働力不足（ミスマッチ）への対応
 - ✓ 雇用の調整弁としての柔軟な労働力
- 日本人労働者との関係
 - ✓ 補完か代替か？
 - ✓ 日本人労働者の賃金に与える影響は？

2. 外国籍の子どもの教育

外国人の滞在長期化にともない、家族滞在の外国人が増加したことによって、子どもの教育についても、外国人受入れ議論のなかでしばしば取り上げられるようになってきている。教育は、基本的人権の1つであると同時に、やがて「労働者」となっていく子どもたちにとって、社会的上昇を目指すための貴重な資源でもある。

(1) 学齢期の外国籍の子どもの教育をめぐる制度的問題

- 義務教育からの排除 不就学の子どもたち
- 日本語による教育 日本の学校に通う子どもたち
- 不安定な外国人学校 外国人学校に通う子どもたち

(2) 外国籍の子どもの教育をめぐる問題

1) 不就学の子どもたち

- 正確な数を把握することが困難
- 昼間過ごす「場所」がないことから、非行などの問題発生
- 極めて限られた将来の職業選択

2) 日本の学校に通う子どもたち

- 学習言語習得の難しさ
- 児童生徒の来日時期、親の教育意識、今後の滞在予定など、児童生徒一人ひとりの異なる事情に対応することの難しさ
- 母語しかできない両親とのコミュニケーションの問題
- 極めて低い高校進学率

3) 外国人学校に通う子どもたち

- 外国人学校の果たす役割
 - ✓ 帰国のための準備
 - ✓ 文化的アイデンティティの確立・継承
 - ✓ 外国籍の子どもにとって、差別されない居場所
- 高額な授業料、不安定な経営基盤
- 日本で生活しながらも日本語のできない子どもの存在

(3) 教育から就労へ

- 再生産される分断された労働市場
- 社会移動を可能とする教育をめざして